

# PRESS RELEASE

2015 年 2 月 12 日【一部参考日本語訳】

## アルカテル・ルーセント、2014 年度第 4 四半期と通年の決算を発表

IP ルーティングの売上高は前年同期比 15%増

売上総利益率が引き続き改善し、34.7%に達する

2014 年度通年のフリーキャッシュフローは事業再編費用を除き黒字を達成

- 2014 年度通年のマネージド・サービス部門を除くグループ全体の売上高は前年比 3%減、IP ルーティング部門の売上高は前年比 15%増。実為替レートでのマネージド・サービス部門を除いたグループ全体の売上高は前年比 2%増、IP ルーティング部門の売上高は前年比 20%増。
- 2014 年度第 4 四半期の売上総利益率は前年同期から 130 ベーシスポイント増の 34.7%、2014 通年では 33.4%を達成。
- 2014 年度第 4 四半期の固定費削減額は、新しい市場セグメントとチャンネルへの再投資および研究開発の前倒しに関連した費用 1,600 万ユーロを差し引いて 3,000 万ユーロ、累計削減額は The Shift Plan 目標額の 70%を超える 6 億 7,500 万ユーロ。
- 2014 年度第 4 四半期の調整後営業利益は売上高の 7.7%にあたる 2 億 8,400 万ユーロ、通年の調整後営業利益は売上高の 4.7%に相当する 6 億 2,300 万ユーロ。
- 第 4 四半期のフリーキャッシュフローは 2 億 6,400 万ユーロ、通年では前年度から 2 億 3,700 万ユーロの改善となる 4 億 2,000 ユーロの赤字。事業再編費用を除いた第 4 四半期のフリーキャッシュフローは 4 億 2,000 万ユーロの黒字、通年では 4,300 万ユーロの黒字を達成。

## 2014 年度第 4 四半期と通年の主な業績指標

百万ユーロ(1 株あたり利益を除く)	2014 年 度 第 4 四 半期	2013 年度 第 4 四半期 プロフォー マ・ベース	前年 同期比	2014 年 度	2013 年度 プロフォー マ・ベース	前年 同期比
損益計算書						
売上高	3,682	3,763	-6%	13,178	13,813	-3%
売上総利益	1,279	1,258	2%	4,408	4,322	2%
対売上比	34.7%	33.4%	130 bps	33.4%	31.3%	210 bps
調整後営業利益	284	293	-3%	623	278	345
対売上比	7.7%	7.8%	-10 bps	4.7%	2.0%	270 bps
純利益(損失)(グループ内シェア)	271	134	137	(118)	(1,304)	1,186
希薄化後 1 株当たり利益(ユーロ)	0.08	0.05	Nm	(0.04)	(0.54)	Nm
E/ADS(米ドル)	0.10	0.07	Nm	(0.05)	(0.74)	Nm



キャッシュフロー計算書						
事業別営業キャッシュフロー	518	487	31	494	211	283
フリーキャッシュフロー	264	361	(97)	(420)	(657)	237
事業再編費用を除くフリーキャッシュフロー	420	550	(130)	43	(146)	189
The Shift Plan の主要指標						
コア・ネットワーキング事業の売上高	1,802	1,726	1%	5,966	6,151	-2%
コア・ネットワーキング事業の営業利益	288	258	12%	630	479	151
対売上比	16.0%	14.9%	110 bps	10.6%	7.8%	280 bps
アクセス事業およびその他による営業キャッシュフロー	154	223	(69)	48	(137)	185
グループ全体の固定費削減額	30	96	Nm	340	335	Nm

別段に言及のある場合を除き、増減に関するすべての数値は、為替レートと決算対象組織の境界を固定し、2014 年度第 1 四半期時点においてエンタープライズ事業の会計を非継続事業とし、また 2014 年第 4 四半期時点において LGS を分離したものです。

【2015 年 2 月 6 日、パリ発】アルカテル・ルーセント(CEO: ミシェル・コンブ (Michel Combes))は、2014 年度第 4 四半期と通年の決算を発表し、長期的な収益性がさらに改善していることを示しました。

この業績について、アルカテル・ルーセントのミシェル・コンブ CEO は次のように述べています。「2014 年度第 4 四半期と通年の業績は、アルカテル・ルーセントの再建成功を示すものとなりました。The Shift Plan の実行を通じて長期的な収益性とフリーキャッシュフローを改善すると共に、組織全体の結束も高めました。利益ある成長の機会を活用する準備を十分に整えて迎えた 2015 年度には、業務の卓越性とサービスの品質に注力します。製品ポートフォリオと業務変革における成果に基づき、2015 年度には目標とするフリーキャッシュフロー黒字化を達成できることを確信しています。」

## 2014 年度第 4 四半期のハイライト

- マネージド・サービス部門を除くグループ全体の売上高は、損失を生じる契約の解除または再構築を反映して前年同期比 3%減となりました。実為替レートでのマネージド・サービス部門を除くグループ全体の売上高は前年同期比 2%増でした。
- 売上総利益率は 34.7%に達し、商品ミックスの改善により前年同期から 130 ベーシスポイント拡大しました。直前期と比較した場合の 70 ベーシスポイントの改善は、主に固定運営経費の削減によるものでした。
- 固定費削減額は、新しい市場セグメントとチャンネルへの再投資 1,600 万ユーロを差し引いて 3,000 万ユーロ、The Shift Plan の下での累計削減額は 6 億 7,500 万ユーロに達しました。特に販売費および一般管理費は前年同期から 1%減少しました。為替レートを固定した場合の販売費および一般管理費は前年同期から 6%減でした。売上高に対する販売費および一般管理費の比率は 11.3%でした。
- 調整後営業利益は売上高の 7.7%に相当する 2 億 8,400 万ユーロで、これに対し前年同期は売上高の 7.8%に相当する 2 億 9,300 万ユーロでした。コア・ネットワーキング事業部門の利益率は前年同期から改善し、調整後営業利益率は 16.0%に達しました。
- 先に発表したとおり、グループは第 4 四半期に 2 億 7,100 万ユーロの純利益(連結)を計上し、1 株当たりでは 0.08 ユーロの利益でした。これに対し前年同期は 1 億 3,400 万ユーロの利益でしたが、この利益改善は主に金融費用の低下と収入税特典の拡大によるものであり、事業再編費用の拡大により一部相殺されました。
- 事業別キャッシュフローは 5 億 1,800 万ユーロに達し、これに対して前年同期は 4 億 8,700 万ユーロでした。このキャッシュフロー改善は特に在庫削減を中心とした経営運転資金圧縮の成果です。第 4 四半期のフリーキャッシュフローは 2 億 6,400 万ユーロで、前年同期から 9,700 万ユーロ減少しました。

- 2014 年 12 月 31 日現在のグループ全体の純現金残高は 3 億 2,600 万ユーロで、これに対し 2014 年 9 月 30 日現在は 1 億 3,200 万ユーロの純負債でした。
- 先に発表した、US Management Pension Plan から月次で年金を受け取っている退職者に対して年金全額の一括払いも選択肢として提供するという計画に加え、グループはこの一括払いオプションを US Inactive Occupational Pension Plan に加入している約 32,000 名の退職者、元従業員、および関連する受給者にも拡大することが可能になったと発表しました。これは先に発表済みの一括払いオプションと平行して提供され、対象となる個人には今年中に正式に通知される予定です。対象となる加入者と受給者のうち、それぞれのオプションを選択した人々への支払は 2015 年第 4 四半期に行われる予定で、これらの人々へのアルカテル・ルーセントの年金支払い義務はこれによって完全に終了します。支払は既存の米国年金制度の資産から行われ、これらのプランに関連して米国年金制度に追加拠出を行うことは予想していません。
- 2014 年 12 月 31 日現在のグループ全体の年金および OPEB(年金以外の退職後給付)へのエクスポージャーは 13 億 5,000 万ユーロの不足で、これに対し前年同期は 5 億 4,600 万ユーロの余剰でした。この変化は主に、2014 年末に米国で発表された新しい死亡率に基づき、IFRS 基準の見直しをアルカテル・ルーセントの前提条件に加えたことを反映しています。米国での必要資金額の基準となる ERISA 法の観点からは、米国での年金資金には相当額の余剰が存在し、アルカテル・ルーセントは予測できる範囲の将来に追加拠出を行うことは予想していません。

## 2014 年度通年のハイライト

- マネージド・サービス部門を除くグループ全体の売上高は前年度から横ばいでした。
- 売上総利益率は、複数の営業品目で利益率向上、商品ミックスの改善、および固定運営費の削減を反映し、前年度から 210 ベースポイント改善して 33.4%となりました。
- 純固定費削減額は 3 億 4,000 万ユーロに達しました。特に販売費および一般管理費は前年度から 12.9%減少し、売上高に対する販売費および一般管理費の比率は前年度から 110 ベースポイント低下して 12.1%となりました。
- 調整後営業利益は売上高の 4.7%に相当する 6 億 2,300 万ユーロで、前年度の売上高の 2.0%に相当する 2 億 7,800 万ユーロから倍以上に拡大しました。
- 事業別キャッシュフローは前年同期の 2 億 1,100 万ユーロから 4 億 9,400 万ユーロに拡大し、フリーキャッシュフローも前年度の 4 億 2,000 万ユーロの赤字から 2 億 3,700 万ユーロの黒字となりました。
- 先に発表したとおり、グループ全体の純損失は前年度の 13 億 400 万ユーロから 1 億 1,800 万ユーロに大幅に改善し、これは主に金融費用の低下と収入税特典の拡大、ならびに前年度の数値には減損費用が影響を及ぼしていたことによります。

アルカテル・ルーセントは中央ヨーロッパ標準時 1PM から記者およびアナリスト向け会見を行い、これは会議電話を通じてライブで、および音声ウェブキャストとして視聴いただけます。詳細については <http://www.alcatel-lucent.com/investors/financial-results/Q4-2014> をご覧ください。

## 注記

アルカテル・ルーセントの取締役会は 2015 年 2 月 5 日に会合を持ち、2014 年 12 月 31 日現在のグループ連結決算書を精査し、その公表を承認しました。

記載されている数値はいずれも現在監査中です。調整後数値はいずれも未監査です。連結財務諸表は以下に掲載されています。

<http://www.alcatel-lucent.com/investors/financial-results/Q4-2014>

「営業損益」とは、事業再編関連費用、訴訟関連費用、資産減損、連結法人売却に伴う損益、退職後給付制度改定に伴う損益を計上する前の、営業活動による損益を指します。

「調整後」とは、ルーセント事業統合に伴う PPA(取得原価配分)の主たる影響が除かれていることを指します。

「事業別営業キャッシュフロー」とは、為替レートを固定した場合の調整後営業損益と営業運転資本を加えたものです。

「営業キャッシュフロー」とは、運転資金の変化を反映し、支払利息/税、事業再編に伴う支出、および年金と OPEB に伴う支払を除外したキャッシュフローです。

## 2015 年の予定

2015 年 5 月 9 日:2015 年度第 1 四半期決算発表予定

### <アルカテル・ルーセントについて>

アルカテル・ルーセント (Alcatel-Lucent) はグローバル通信の分野をリードする企業であり、IP およびクラウド・ネットワーキングの製品や革新的なソリューションを提供しています。また、サービスプロバイダとそのお客様、世界中の各種法人及び政府機関に対し、超高速ブロードバンドの無線/固定アクセスを提供しています。

アルカテル・ルーセントは、音声電話技術からデータ、ビデオ、情報の高速デジタル・デリバリーへ移行しつつある業界を牽引しています。これを支えるのはベル研究所です。ベル研究所はアルカテル・ルーセントが擁する研究所で、世界最先端の研究開発機関の一つであり、数えきれないほど多くの技術革新によりネットワーキングと通信業界の形成を担ってきました。アルカテル・ルーセントは、これまでの技術革新が認められ、トムソン・ロイター社が世界で最も革新的な企業 100 社を選出する「Top100 グローバル・イノベーター」の 1 社に選出されました。また、MIT テクノロジー・レビュー誌による「世界で最も革新的な企業」50 社の 2012 年度ランキングにも選出されています。さらに、ダウ・ジョーンズ社の「ダウジョーンズ・サステナビリティ・インデックス 2013」において、技術ハードウェア & 装置部門のインダストリー・グループ・リーダーに選定されています。アルカテル・ルーセントは、「コネクテッド・ワールド(つながった世界)」という企業ミッションのとおり、グローバル・コミュニケーションをより持続可能に、より利用しやすく、そしてよりつながりやすいものにしてまいります。

アルカテル・ルーセントはフランスのパリに本社を構える法人で、2013 年の売上高は 144 億ユーロ。ユーロネクスト・パリ、ニューヨーク証券取引所に上場しています。

URL: <http://www.alcatel-lucent.com> / ブログ: <http://www.alcatel-lucent.com/blog/>

ツイッター: [http://twitter.com/Alcatel\\_Lucent](http://twitter.com/Alcatel_Lucent)

### <日本アルカテル・ルーセント株式会社について>

日本アルカテル・ルーセント株式会社は、次世代のネットワーク・サービスを中心とした固定/無線アクセス、IP、光伝送、アプリケーション、エンタープライズの事業分野で関連機器及びプロフェッショナルサービス、インテグレーション、保守を提供し、国内大手通信事業者をはじめ、各種法人、政府機関など幅広いお客様をサポートしています。

所在地: 〒141-6006 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower 6F / 代表取締役社長: ニコラ・ブーベロ (Nicolas

Bouverot) / 資本金: 4 億円 / URL (日本サイト): <http://www.alcatel-lucent.co.jp>

.....  
本件に関するお問い合わせ先：  
日本アルカテル・ルーセント株式会社  
コミュニケーション部 クルザーチエ・キャロリーヌ  
TEL: 03-6431-7000 FAX: 03-6431-7024  
E-mail: [jpmarcom@alcatel-lucent.com](mailto:jpmarcom@alcatel-lucent.com)  
.....